

むかで競走

〈10月号〉

〈あらすじ〉

主人公、拓也はむかで競走の実行委員となり、練習にも気合が入っていた。しかし、運動が苦手な一宏がいる B チームは転んでばかりで、なかなかうまくいかない。学級の雰囲気も悪くなり、実行委員の拓也も努力する気持ちがどんどんなくなっていく。朝練にも身が入らなくなり、拓也は朝練をさぼってしまった。そんな中、拓也は一宏たちが放課後、むかで競走の特訓をしているところを目撃する。翌日から拓也は特訓にも参加し、学級の目標も「優勝」から「全員完走」になった。

一丸となったクラスは準優勝ではあったが、全員が転ばずに完走し、全員がゴールした B チームに走り寄った。



たくや 拓也

かずひろ 一宏

つし 剛

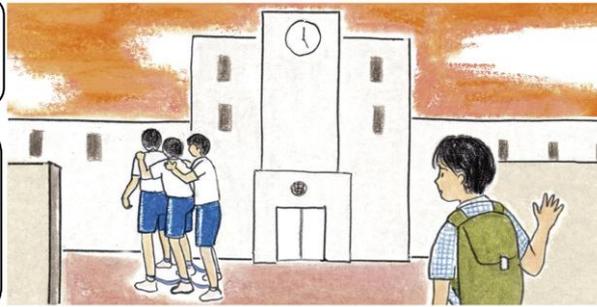
拓也が「その場から動けなかった」ときの拓也の気持ちは？

剛の発言に何も言えず苦笑いしてしまったことを後悔している。

拓也はがんばっていたのに、自分は朝練をさぼって何をしているんだろうと情けない気持ちになった。

剛やみんなの悪口をどうして止められなかったのだろう。あの時止めていたら…。

自分たちがしていたことは一宏を追い詰めていた。



一宏は一宏なりに頑張っていたんだな。

一宏はチームのことを思っていたのに、自分はチームのために何もできていなかった…。

僕たちのせいで学校休んだのかな？迷惑かけるかもって思っていたのかな？

リーダーを務めるとき、求められるのはどんなことだろう？

一人ひとりすごいことを褒めたり、頑張りを認めたりすること。

励ましあったりアドバイスしたりすることができること。

仲間外れにならないように、周りのことを考え声をかけること。

周りからどう思われようと困っている人がいたら助け、いけないことはしっかり注意できること。

仲間がミスをしたときに、笑わずに励ましの声かけができること。

みんなを引っ張っていけるよう自分が率先して行動すること。

悪いところばかりをみるのではなく、良いところをみる。

失敗を他人のせいにならず、いろんな人がいろんな立場に自分を置き換えて考えてみる。



**思いやり 自信
信頼 発言力**